

# 令和4年度当初予算知事審査における主要な議論

## (県民生活部)

### LGBTQ支援事業(B16)

知事 LGBTQ支援に係る企業の理解を深めるため、企業向けオンライン研修等を実施することとしているが、企業の参加を促す仕組みを再考する必要があるのではないかと感じるが、大学生へのモデル事業を実施するのはなぜか。

#### (後日審査)

担当部局 埼玉県LGBTQフレンドリー指標制度(仮称)を設けることを検討している。これは、企業向けオンライン研修の受講を条件として、企業のLGBTQに関する取組を評価指標に当てはめ、その結果をホームページで公表するものである。これにより、企業のイメージアップや多様な人材の確保につながり、企業にとって研修参加のインセンティブになると考える。

まず小学校5年生から中学生、高校生においては、教育局においてLGBTQの基礎知識の教育を行っている。一方で大学生はその対象となっていないため、大学生に対し理解促進を行いたいと考えている。また、若年層に比べその親世代の方が理解が低い傾向にあるため、親世代に対する理解促進の方策について大学生の自由な発想や発信力を活用し検討していきたいというのがモデル事業の趣旨である。

知事 了解した。

## 屋内 50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業（B43）

- 知 事 スポーツ科学拠点施設のスケジュールについて、仮にPFI事業で実施する場合、アドバイザー業務委託等を実施する時期は。
- 担当部局 検討が円滑に進めば、令和4年度中に早めることも検討していきたい。

# 令和 4年度予算見積調書

課室名: 人権推進課  
 担当名: 企画・総務担当  
 内線: 2255

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B16	LGBTQ支援事業		一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	人権施策推進費	
事業期間	令和2年度～令和8年度	根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		針路	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現	SDGsゴール	10
					分野施策	0704 人権の尊重	SDGsターゲット	10-2
1 事業概要	<p>LGBTQについての正しい理解が進むよう、県民や企業に対する啓発活動を実施する。</p> <p>さらに、LGBTQ当事者やその家族からの相談を受ける専門相談窓口を設置するとともに、企業の取組を支援するため、企業向けの相談窓口を設置する。</p> <p>また、LGBTQが安心して生活できる環境づくりのため、施策を検討するとともに相談機関の連携を図る。</p> <p>(1) LGBTQ理解促進事業 2,901千円                      (2) LGBTQ相談事業 16,270千円                      (3) LGBTQが安心して生活できる環境づくり事業 836千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容及び事業計画</p> <p>ア LGBTQ理解促進事業 2,901千円                      LGBTQについての正しい理解が進むよう、県民向け・企業向けに啓発を行う。                      (ア) 企業向けオンライン研修の実施及びLGBTQ指標制度の導入 2,026千円                      企業においてLGBTQについての正しい理解が進むよう、オンライン研修を実施するとともに、LGBTQ指標制度を導入し、LGBTQが働きやすい職場づくり等を促進する。                      (イ) 大学生向けアライの取組 875千円                      県内大学生を対象に、アライを増やす取組を実施し、親世代をはじめとする県民への理解促進を図る。</p> <p>イ LGBTQ相談事業 16,270千円                      LGBTQ当事者等からの悩みと、企業からのLGBTQ配慮に関する取組についてそれぞれ相談を受ける。                      (ア) LGBTQ専門相談事業 12,438千円                      誰にも相談できずに悩んでいるLGBTQ当事者やその家族等から、電話やSNSで相談を受ける。                      (イ) 企業向けLGBTQ相談事業 3,832千円                      LGBTQが働きやすい職場づくりに向けた企業におけるLGBTQに関する取組を支援するため、企業から個別に相談を受け付ける。</p> <p>ウ LGBTQが安心して生活できる環境づくり事業 836千円                      LGBTQが安心して生活できる環境づくりのための施策の検討、相談機関の連携を図る。                      (ア) 環境づくりのための検討会議 406千円                      当事者や有識者で構成される会議を開催し、県の制度や取組について検討する。                      (イ) 相談機関ネットワークづくり 430千円                      県や市町村の各相談機関との連携強化を図るとともに、相談事例等を共有して相談スキルの向上を図る。</p> <p>(2) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTQへの理解が深まり、当事者への偏見や差別の減少につながる。</li> <li>・企業がそれぞれの状況に応じてLGBTQの取組を検討・実施することが可能となり、LGBTQが働きやすい職場の増加につながる。</li> <li>・LGBTQ当事者やその家族が気軽に相談できるようになり、安心して暮らせるようになる。</li> </ul>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0=28,500千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	20,007						20,007	14,138
前年額	5,869						5,869	

# 令和 4年度予算見積調書

課室名: スポーツ振興課  
 担当名: 総務・施設担当  
 内線: 6951

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B43	屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業		一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	県民スポーツ振興費		
事業期間	平成28年度～令和9年度	根拠法令	スポーツ基本法第4、6、7、12、14、16、18、21条、埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築		SDGsゴール 3
					分野施策	0804	スポーツの振興		SDGsターゲット 3-4
1	<b>事業概要</b> アスリートの競技力向上や県民のスポーツ実施率の向上を推進する拠点として、屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設の整備に向けた検討を行う。  (1) 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業 49,325千円		<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業 49,325千円 (ア) 屋内50m水泳場 P F I 事業公募準備 (イ) スポーツ科学拠点施設整備に向けた検討  (2) 事業計画 ア 屋内50m水泳場整備 令和4年度 P F I 事業公募準備 令和5年度 P F I 事業者公募 令和6年度～ 設計・工事等 令和9年度中 開設予定  イ スポーツ科学拠点施設整備 令和4年度 上尾運動公園全体の整備を踏まえた事業手法等検討  (3) 事業効果 ア 屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備事業 ・競技力向上 ・県民の体力・健康づくりの促進 ・スポーツ実施率の向上						
2	<b>事業主体及び負担区分</b> (県10/10)								
3	<b>地方財政措置の状況</b> なし								
4	<b>事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×10人=95,000千円								
<b>予算額</b>		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	49,325							49,325	34,142
前年額	15,183							15,183	